

令和元年11月10日号（第202回）

# 阿伎留通信

公立阿伎留医療センターは、医の心を重んじ、患者の生命と健康と  
生活の質を考える良質の医療を実践し、地域医療の最適化に努力します。

今回の阿伎留通信は、「4階東病棟のご紹介」をテーマに、4階東病棟の雲雀 加津子看護師長よりお話しをさせて頂きます。

## 4階東病棟について

当病棟は、4階の東側に位置する43床の病棟になります。他の病棟との違いは、ナースステーションの近くに6床の病室があることです。この病室は、緊急の入院の患者さんを受け入れるために設置されています。また、有料の個室は5床あり、手術後に使用する病室はナースステーションの近くに配置されています。

4階東病棟は、整形外科・眼科・呼吸器外科といった診療科をメインとしていますが、内科系や小児科といった複数の診療科が対象の混合病棟です。

## 診療科ごとの特徴

当病棟の整形外科は、転倒のリスクが高いと言われる70～100歳と高齢の入院患者さんが多いのが特徴です。最も多いのは、転倒して骨折され、手術をする方です。突然の怪我で手術をしなくてはならないこと、安静を目的に入院されるという患者さんへのケアとして、転倒転落予防、褥瘡予防、感染防止に努めています。

病棟では入院の不安が少しでも軽減できるように、クラシックなどの聞きやすい音楽を流しています。手術を安全に受けられるために検査、処置などを円滑に行い、手術後は早期離床として患者さんの状態にあわせて車椅子に乗って食事をしていただき、ベッドで横になっている時間となるべく短くしていくようにケアをしています。

また、当病棟ではリハビリをする患者さんが多く、コルセットなどの装具を作成するこ



ともあります。装具作成の専門の業者さんがベッドサイドで装具の装着、調整のサポートをしています。

また、呼吸器外科では鏡視下での肺の手術を中心としています。胸腔にドレーンを入れる処置を行う場合もあります。手術による侵襲を少なくでき、手術後は早期の離床を図り、入院期間は1週間から10日程度です。



眼科では、2泊3日の手術を行っています。眼科が行うのは白内障の手術が最も多く、両目を1回の手術で行えます。手術前は不安に感じていた患者さんも、手術後は良く見えるようになり、『早く手術をすれば良かった』とお話しされる方も多くおられます。

4階東病棟では、医師・看護師・看護補助者・リハビリテーション技師・薬剤師・栄養士・社会福祉士など多職種のスタッフがチーム一丸となって話し合い、治療やケアを行っています。毎週チームでのカンファレンスを実施し、入院から退院、退院後の生活が安心して過ごせるよう連携を密にしています。

入院生活についてのご意見は、退院時アンケートをお渡ししています。ご要望、改善点などの気が付いたことがあればご記入頂き、病棟業務、看護の改善を心がけていきます。



患者さんご本人とご家族とのコミュニケーションを大切にして「入院時から退院後の生活を考え、目標に向かって一緒に歩む看護」を目指しています。

阿伎留通信については、バックナンバーを公立阿伎留医療センターのホームページで御覧することができます。ホームページアドレス(<http://www.akiru-med.jp>)